



風土の力に、人の手のひらを添える。

火の国阿蘇の
恵みのブランド

自然
zen
A s o C i t y

手前みそ、ということばは

かつて味噌がそれぞれの家単位で

作られていたゆえに生まれた自慢語ですが、

その自慢は人のワザというより、

土地の風や光や水への自慢だったのでしょう。

醗酵食品である味噌は、

質の高い自然が順序正しく作り上げてくれる恵みです。

人はそこに敬意を表して掌（たなごころ）を添えるだけ。

だからこそ、ていねいに、ていねいに、

だれの手も借りず、気心の知れた夫婦ふたりだけで

麴に語りかけ、整えていくことになるのです。

山部こうじ店 山部公望

あるがまま、という貴さ。

人と自然が共作する阿蘇。